



ちた未来塾第3回

「地域のお宝を活かしたまちづくり」を開催しました！

8月6日、ちた未来塾第2回を開催しました。今回は、常設型多世代交流拠点「南粕谷ハウス」事務局長の石井久子さんを講師に迎え、地域における「居場所」の大切さや地域の人達が力を合わせたまちづくりの意義を学びました。



南粕谷ハウス事務局長 石井久子さん

地域は人材の宝庫「地域のお宝=人」

地域には様々な人が住んでおり、それぞれが素晴らしい力を持っています。それらの人達が繋がり、動き出すことでより良いまちづくりに繋がっていきます。南粕谷ハウスは、地域の人同士を繋ぐ「世代間の交差点」として、常設の居場所、親子向けイベント、ものづくり、食事会などの取り組みをしています。塾生からは、「誰でも気軽に行ける場所が地域にあるのが羨ましい」、「自分たちもみんなが集まれる居場所づくりをしてみたい」、「人と繋がることの大切さを知ることができた」などの声がありました。

塾生同士でグループづくり

後半は、現時点での興味・関心を発表し、主体的にグループづくりを行いました。(以下内容)

◆BBQ グループ:ちた未来塾のメンバー間の親睦を深めるために、現在進行中のBBQを企画する。実施日は8/10、場所は知多市佐布里池公園。

◆運動会グループ:スポーツを通じてお互いの仲を深めるために、塾生のみんなで運動会を開催する。玉入れ、リレー等の通常種目に加え、ボッチャ等の※アダプテッドスポーツも実施する。詳細は今後グループで検討。(※障害の有無に関わらず誰でも参加できるスポーツ)

◆Ada-coda 空き家でカフェグループ:市民活動センター1Fにある、「手づくりカフェ Ada-coda」でお試しかフェを実施する。日程は9/10、メニューはホットサンド、スムージー、クッキー等を予定。詳細は今後グループで検討。

それぞれのグループでフィールドワークを実施し、次回(9/17)で活動を報告する。

以上



グループワークの様子

次回は 9/17 (日) 13:30~16:30